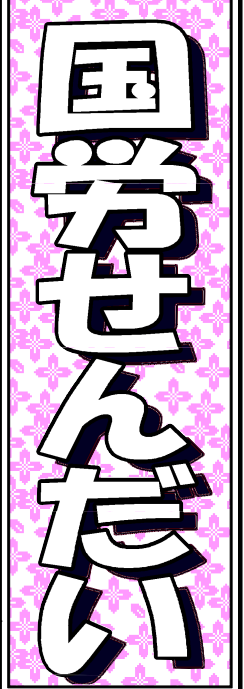


相次ぐ設備重大事故



支社に申入れ 郡山新幹線架線切断事故



No. 2706
2015年9月15日
発行責任者 大沼 元
編集責任者 武田 昌仙



断線したトオリ線の復旧作業現場

4月12日、山手線神田駅・秋葉原駅間で、架線を引き留めている電化柱が倒壊するという重大な輸送障害事故が発生させ、続いて4月29日には新幹線郡山駅構内で架線が切断し大きな輸送障害となった。
地方本部は度重なる設備に起因する輸送障害事故を重く受け止め、原因究明と再発事故防止に向けた議論を「地本安全問題プロジェクト会議」で実施し、要求を集約して仙台支社に申し入れを行った。
工事施工が問題なのか？

4月29日(水) 11時32分頃、東北新幹線郡山駅構内

で架線が切断し、約4時間にわたり運転を見合わせるという重大な輸送障害が発生した。4月12日の電柱が倒壊し線路を支障するとい

う重大インシデントが発生した直後であり、世間の信頼を大きく損ねた。
会社はこの事故について、郡山駅構内の上下わたり線の架線(トオリ線)が断線し、原因は本線を高速で通過するパンタグラフがわたり線のトオリ線に接触し、切削を伴って摩耗が進行した結果、断線したとしている。また今回の事象に至る経過として、架線支持物(可動ブラケット)の取替工事による本線とわたり線の高低差は規定値の最小値の50mmであり、また架線金具の重みによりその値を下回っていた可能性があるとしている。(JRひがし2015年7月号)

予兆はあったのだが

しかし、今回の事故に至るまで、昨年の6月にも同様の事象が白石蔵王駅構内で発生しており、メンテナンス側の検査による発見で事なきを得ていたにも関わらず、同種事故の未然防止策を実施してこなかった会社側の対応には疑義がある。
またこの間の事象に問題提起をしてきた保全担当の組合員の意見にしっかりと耳を傾けなかった現場と支社にも問題はなかったのか。地方本部はこの事故を受

7	11	第60回アスベスト問題学習会
7	14	第11回地本執行委員会・支部代表者会議
7	30	第84回定期全国大会
7	31	第12回地本執行委員会
8	7	地本調査部長会議
8	19	地本調査部長会議
8	21	東北貨物協議会幹事会

8	8	第48回安プロ・第39回業長会議
8	24	第28回東日本本部大会
8	25	第61回アスベスト対策委員会
8	30	第13回地本執行委員会
8	31	地本組織部長会議
9	6	第14回執行委員会・支部代表者会議

国労仙地申第25号

- 1、トオリ線断線の原因を明らかにされたい。
- 2、仙設電第119号で1- にある、わたり線装置の新たに高低差管理する箇所に900mmに加え300mmと600mmを追加する理由を明らかにされたい。
- 3、同1 にある「6ヶ月に1回、現地での測定」とあるが、検測車で測定することを施策としてきたが、なぜ現地での測定をするのか明らかにされたい。
- 4、仙設電第119号で、わたり線装置の管理値60mm~70mm以外は即修または14日以内に改修とあるが、測定器と測定者によって誤差が生じるが、その誤差をどのように考えるか明らかにされたい。
- 5、同1- にある、実施時期で「当面の間」とあるが、何をもって終了するのか明らかにされたい。
- 6、検測車システムがなぜ断線を未然に防げなかったのか明らかにされたい。
- 7、今回の断線事故以前の平成26年6月に郡山駅構内上下わたり線での異常摩耗、平成26年9月にも白石蔵王駅で同箇所の異常摩耗が発見されたが、その原因を明らかにされたい。
- 8、仙台支社内で局部摩耗が多発しているが、仙台支社及び他支社の件数と原因を明らかにされたい。

- 9、平成26年3月15日ダイヤ改正後からE5+E6編成の320Km/h走行が開始されたが、今回の断線事故及び一連の局部摩耗発生との関連性を明らかにされたい。また今後の保全方法について明らかにされたい。
- 10、平成27年6月に白石蔵王構内で要注意データによって局摩箇所(手測定値は摩耗限度を下回る12.1mm)が発見される、あわや断線の事象があったが原因を明らかにされたい。また、同ドラムが張替計画に反映されていたか明らかにされたい。
- 11、要注意速報データの処理についての技セ・メセの役割とチェック体制を明らかにされたい。
- 12、今回の上下わたり線の断線事故を防ぐために、検測車による要注意データの項目にわたり線の摩耗及び接触(仮名)等の機能をシステム化されたい。
- 13、新幹線検測車システム(ツインズ)の担当者への研修教育を実施されたい。
- 14、新幹線電気軌道総合検測車でのトオリ線保全管理について今後の考え方を明らかにされたい。
- 15、会社開催の各種ワーキング会議と設備保全・工事等での規定・保全標準・施工標準の関わり合いについて考え方を明らかにされたい。

けて、地本安全問題プロジェクト会議(座長：地本業務部)と地本電気協議会(千葉薫議長)を通じて議論を開始
2回のプロジェクト会議の議論と電気協議会の専門の議論を行う予定だ。

上部機関大会終える

中央本部・東日本本部が新体制

全国大会

第84回国労定期全国大会は7月30日、31日、越後湯沢・湯沢グランドホテルで開催された。

衆議院で戦争法案が強行採決された直後の大会でもあり、高野中央執行委員長のあいさつを始め、多くの来賓から「国労が運動の核心を担い奮闘を」との激励を受けた。こうした情勢を受け、方針案の討論では、多くの代議員が「国会包囲網行動に結集しよう」と訴えた。

また労働者派遣法の改悪が施行されれば、JR関連労働者はもとよりJR本社員員の労働条件の低下・影響は避けられないことから、労働法制反対の取り組みの強化が訴えられた。戦争法案廃案・労働法制改悪阻止の運動と連動し、16春闘を官製春闘から労働者中心の春闘に変える取り組み、また喫緊の課題である組織強化・拡大の取り組みは殆どの代議員が触れ、引き続き機関に集中すること、そして国労運動をJR本体と関連職場にも継承・発展させていくことを全体で確認した。

新役員

中央執行委員長
坂口 智彦(千葉)
中央執行副委員長
佐々木 隆一(広島)

書記長
唐沢 武臣(高崎)

中央執行委員
井村 好博(千葉)
星野 高志(東京)
矢部 雄一(東京)
滝口 良一(東京)

東日本大会

第29回国労東日本本部定期大会は8月24日、25日、さいたま市・ラフレさいたまで開催された。

討論では経過で7人、方針で18人が発言。仙台地本の代議員も5人が積極的に発言し討論に参加し、経過と運動方針が承認された。役員改選では、委員長のみ複数の立候補があり選挙となった。また機関紙表彰では仙台地本の4機関が表彰された。

選挙結果
菊池忠志(水戸) 36票
曾我浩之(仙台) 12票

新役員

執行委員長
菊池 忠志(水戸)
執行副委員長
宮崎浩則(東京)

書記長
佐藤正幸(長野)

執行委員
伊藤隆夫(東京)
武田幸喜(仙台)
武笠秀也(東京)
樋口孝重(東京)
渡辺信之(東京)

機関紙表彰

最優秀表彰
団結(通算500号)
仙台総合車両所支部

郡工情報(年間53号)
郡山工場支部

優秀表彰
分会通信(年間48号)
郡山工場貨物分会

団結(年間39号)
仙台総合車両所支部

ろばた(31号)
東北工事事務所分会

訂正とお詫び

国労せんだい8月18日付号外で地方大会代議員の代議員名簿に一部誤記載がありました。宮城県支部の佐藤次夫代議員の職名を輸送指導係に、また東北自動車支部の早坂修悦代議員の勤務箇所を古川営業所に訂正しお詫びします。

仲間の異動

出向
8月1日付 (簡苦)
山王丸 正寿さん
山形車両センター
Jテック山形

野球・駅伝だけじゃない ゴルフ大会準優勝

第3回国労東日本本部ゴルフトーナメントが9月7日、千葉県房総カントリークラブ房総ゴルフ場で開催されました。各地方本部の腕自慢のゴ



右から中鉢氏、阿部氏、青野氏、村上氏、東日本菊池委員長

ルフアー精鋭4人を選出し、全13チームで熾烈な戦いを繰り広げた結果、見事仙台チームが準優勝の栄冠に輝きました。仙台地本チーム(村上晃一、阿部貴弘、中鉢悟、青野恒男の4人、敬称略)は、優勝した東京地本上野チームに僅かに届かなかったものの、素晴らしい成績で栄冠を手中にしました。仙台地方本部は、昨年の東日本本部主催の野球大会で準優勝、また同駅伝マラソン大会でも準優勝し、また別掲記事の通り機関紙表彰でも他地本を圧倒する表彰を受賞しており、労働運動だけでなく文化スポーツ部門においても非凡な才能を発揮していることが今回のゴルフ大会の結果でも証明されました。この勢いで私たちの最重

退職のお知らせ

6月28日付
千葉 徹さん
小牛田運輸区
6月30日付
宮城 章さん
小牛田駅連合
昆 猛彦さん
東北工事事務所
(JRコンサルタンツ)
7月31日付
村上 晃一さん
仙総台車
(JR東テクノロジー)
本田 文雄
会津若松地区
(Jテック若松)
今野 一郎さん
仙石線駅連合
(TSS高砂駅)

要課題である「組織強化・拡大」の取り組みに弾みを付けて全力で頑張りましょう。
【員】
優勝 東京地本上野支部
(グロス4人合計336)
準優勝 仙台地本
(同合計340)
3位 東京地本大宮地区本部(同合計341)
個人成績
第20位 阿部 貴弘さん
(37・50 合計87)
及川 誠助さん
小牛田保線区
土屋 忠男さん
仙台保線区
(仙建レール)
伊藤 政志さん
東北工事事務所
(JRコンサルタンツ)
伊東 義則さん
仙台保線区
(TSS用地)
エルダー・囑託退職
橋本 昭二さん
仙総台車
(JR東テクノロジー)
駒木根 孝一さん
郡山駅連合
(Jテック郡山)
長い間お疲れ様でした

仙台地本の参加者成績
第4位 村上 晃一さん
(38・45 合計83)
第7位 中鉢 悟さん
(41・43合計84)
第12位 青野 恒男さん
(44・42 合計86)
第20位 阿部 貴弘さん
(37・50 合計87)